

ご 注 意

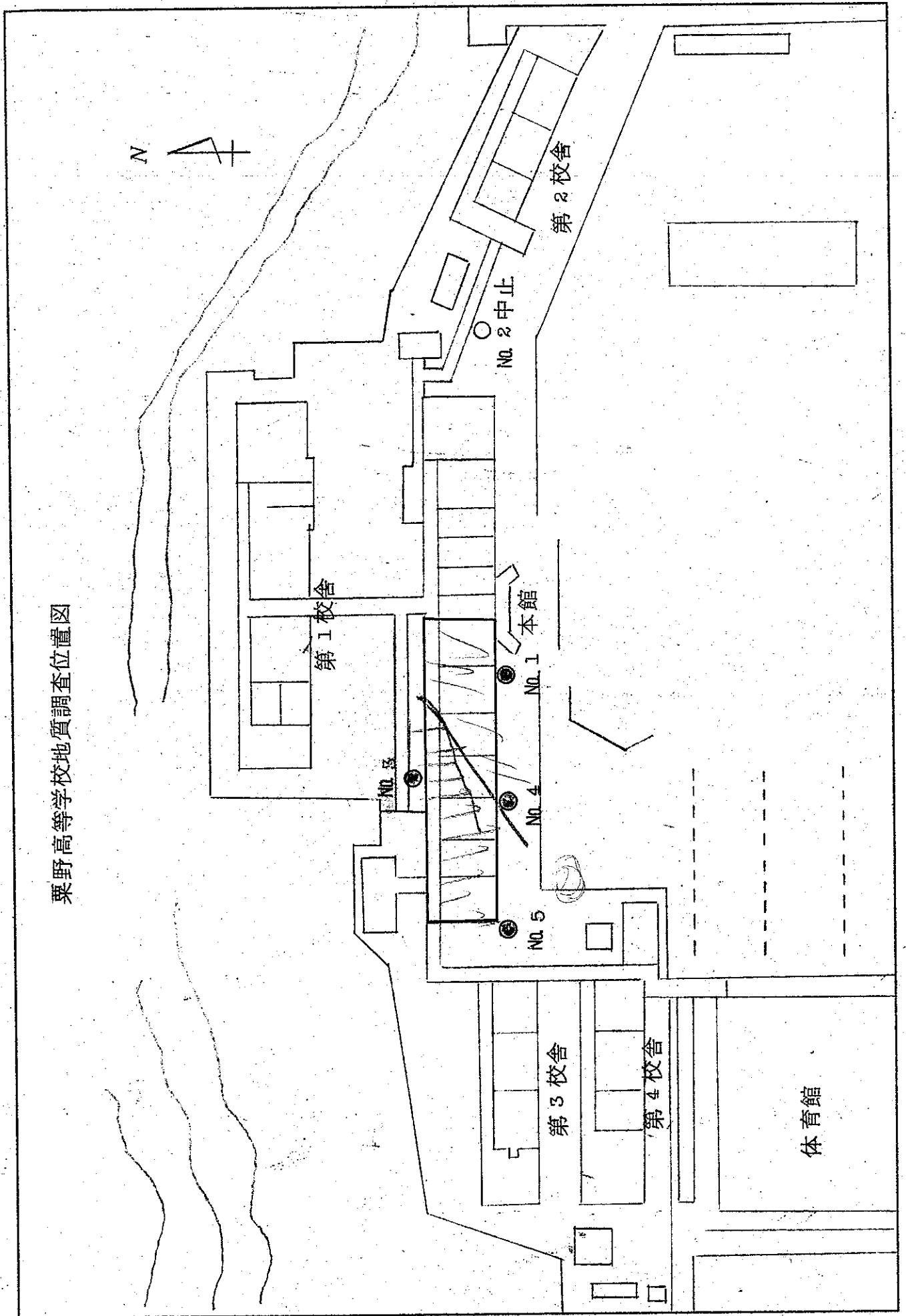
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

栗野高等学校地質調査位置図



ボーリング柱状図

調査名 県立栗野高校改築工事に伴う地質調査 孔番 No. No. 1 地盤高 _____ m

調査場所 栗野町口栗野 (基準面 _____)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和53年2月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-8.00m 調査担当者 _____

標地下水位 高(m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験							
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打撃回数						
											0	10	20	30	40	50	60	70
	0.30	0.30		盛土														
	1							1	1	1.1.1 10.13.12	1.15 1.50	3 35						
	2				茶褐色		幾分粘土質を呈す。所々礫介在。下層礫混入多くなる。全体的に小礫最大50%以内。外点在。	2	2	3.3.2 10.10.11	2.15 2.46	8 31						
	3							3	3	1.1.1 17.8.5	3.15 3.45	3 3						
	4							4	4	1.1.1 15.9.6	4.15 4.45	3 3						
	5			ローム				5	5	2.2.1	5.15 5.45	5						
	6	0.75	0.45					6	6	3.3.3 10.11.11	6.15 6.46	9 31						
	7				茶灰色		幾分粘土質。礫φ20%~50%内外の混入多し。9m附近含水多し。	7	7	3.3.7	7.15 7.45	13						
	8							8	8	9.12.15	8.15 8.45	36						
	9				砂礫			9	9	14.13.24	9.15 9.45	51						
	10	0.25	4.10		粘土	茶褐色	小礫介在。	10	10	2.17.9	10.35 10.65	28						
	11	10.35	0.50					11	11	9.10.12	11.15 11.45	31						
	12							12	12	15.20.13	12.15 12.45	48						
	13							13	13	4.14.14	13.15 13.45	32						
	14							14	14	10.10.9	14.15 14.45	29						
	15							15	15	17.19.18	15.50 15.80	54						
	16							16	16	8.15.23	16.50 16.80	46						
	17							17	17	21.12.30	17.65 17.95	63						
	18							18	18	13.20.17	18.30 18.60	50						
	19							19	19	10.10.12	19.40 19.70	32						
	20							20	20	10.21.20	20.45 20.75	51						

ボーリング柱状図

調査名 県立栗野高校改築工事に伴う地質調査 番 No. NO. 3 地盤高 _____ m

調査場所 栗野町口栗野

(基準面 _____)

地 形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和53年 2月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 G L - 7.10 m

調査担当者 _____

標地下水位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料			標準貫入試験									
					色 調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打 撃 回 数								
												0	10	20	30	40	50	60	70	
	0.65	0.65	X	盛土																
			/	ローム	茶褐色		粘土ローム 小礫混る。 所々φ50-80 %位も介在 3m附近より 礫φ20-30% 位	3	1.1.2	1.15 1.45	4									
			/	ローム	茶褐色			2	1.2.1	2.15 2.45	4									
			/	ローム	茶褐色			3	2.2.3	3.15 3.45	7									
			/	ローム	茶褐色				2.4.3	4.15 4.45	8									
			/	ローム	茶褐色			4	2.3.4	5.15 5.45	9									
			/	ローム	茶褐色			5	1/5.3/5	6.15 6.45	4									
	6.75	6.10	O	砂礫	茶灰色		粘土混りて所 により多い所 挟む。礫φ20 ~50%内外	6	5.7.10	7.15 7.45	22									
			O	砂礫	茶灰色				2.1.2	8.15 8.45	5									
	8.90	2.15	O	砂礫	茶灰色		礫径φ20-50 %内外の混入 多い。80%内 外も混る。 1.1m附近粘 土混入多い	7	11.39/9	9.15 9.34	50 19									
			O	砂礫	茶灰色			8	10.12.11	10.15 10.45	33									
			O	砂礫	茶灰色			9	9.8.9	11.15 11.45	25									
	11.80	2.90	O	岩盤	黒灰色		上層粘土質を 挟む き裂多い き裂にそつて 茶褐色に風化 変質を呈す。 コアは細石状 20%~30%位	10		12.15 12.20	50 6									
			O	岩盤	黒灰色					13.15 13.17	50 10									
			O	岩盤	黒灰色					14.00 14.06	50 6									
	15.03		O	岩盤	黒灰色					15.00 15.03	50 6									

No. 3 は 22177
20478
20479

